

今週（7月27日から7月31日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き邦銀業態による資金調達ニーズは強く、出合いの水準は0.976～0.977%が中心となった。加重平均レートは、連日試し取りが行われたためやや高めに推移し、27日が0.978%、28日が0.980%、29日が0.977%、30日が0.979%、本日は0.976～0.978%程度での取引が中心となっている。

ターム物に関しては、円買いドル売り為替介入が行われたとみられるものの、調達サイドが取り上がる様子は見られず、1M物において1.05～1.1%の出合いが散見された程度でやや閑散であった。

日銀当座預金残高は、週初27日は財政資金の払い等により440兆円に増加、29日に流動性供給入札により439兆円程度に減少し、本日も概ね横ばいで着地する見込み。

本日は日銀の決定会合が行われ、政策金利については現状維持となった。

●債券レポ市場

今週の債券レポ市場GC T/N物の出合い水準は、0.995～1.01%近辺で推移した。

SC取引の個別銘柄では、カレント近辺の銘柄に引合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、6Mゾーンと1Yゾーンが堅調に推移した。

30日に実施された3M物入札は無難な結果となり、セカンダリーでは軟調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、不動産業、食料品業、輸送用機器業、機械業など複数の業態が大型発行を実施した。

市場発行残高は週を通して26兆円台で推移した。

発行レートは引き続き1.0%以上で推移し、銘柄や投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
7/27 (月)	64,931.19	2.770	163.65	0.978	1.000	4,404,400
7/28 (火)	62,364.92	2.775	163.80	0.980	0.999	4,401,800
7/29 (水)	61,434.19	2.745	163.68	0.977	0.998	4,391,100
7/30 (木)	61,867.43	2.795	163.43	0.979	0.997	4,392,200
7/31 (金)	64,362.02	2.794	160.64	0.977	1.000	4,380,700

翌週（8月3日から8月7日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー（※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
8/3 (月)	7月の日銀当座預金増減要因と金融調節実績(日銀 13:00)	交付税借入 8/14借入 12,000億円	7月のISM製造業景況指数
8/4 (火)	7月のマネタリーベース(日銀 8:50) 営業毎旬報告(7月31日現在,日銀 10:00) 日本銀行が保有する国債の銘柄別残高(日銀 17:00頃) 日本銀行が受入れている担保の残高(7月末,日銀 17:00頃)	10Y物 8/5発行 26,000億円	
8/5 (水)	金融政策決定会合議事要旨(6月15・16日分,日銀 8:50) 8月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)	1ヶ月借入 8/20借入 5,076億円	7月のADP雇用統計 7月のISM非製造業景況指数
8/6 (木)		TDB6M物 30Y物 8/10発行 8/7発行 35,000億円 6,000億円	
8/7 (金)	7月のオペレーション(日銀 8:50) 7月の日本銀行の対政府取引(日銀 8:50) 7月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 消費活動指数(日銀 14:00頃) 7月のコール市場残高(日銀 15:00)	TDB3M物 8/10発行 37,000億円	7月の米雇用統計

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
8/3 (月) 日銀予想	200	▲ 82,000	▲ 81,800	国債補完供給	500		500	▲ 81,300	税・保険料揚げ前倒し分
8/4 (火) 弊社予想	400	▲ 56,600	▲ 56,200				0	▲ 56,200	税・保険料揚げ 申告所得税揚げ
8/5 (水) 弊社予想	▲ 100	▲ 23,200	▲ 23,300	全店共通(固)	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 31,300	
8/6 (木) 弊社予想	▲ 200	800	600				0	600	
8/7 (金) 弊社予想	▲ 600	▲ 3,200	▲ 3,800				0	▲ 3,800	

●短期金融市場の見通し

無担保コールON物は、引き続き邦銀を中心に堅調な調達ニーズが見込まれる。ターム物に関しては、本日の日銀総裁会見を受けた利上げ思惑の強まりが、3カ月超のロングタームにどう影響を与えるかが焦点となる。債券レポ市場は、GC T/N物のレートは1.00～1.01%程度の水準で推移することが見込まれる。短国市場は、8月6日(木)に6M物、8月7日(金)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、来週は月初発行にあたり、発行案件がどこまで膨らむか注目される。

来週の主要なイベントとして、国内では3日(月)に7月の日銀当座預金増減要因と金融調節実績、4日(火)に7月のマネタリーベース、5日(水)に金融政策決定会合議事要旨(6月15・16日分)、8月の日銀当座預金増減要因見込み、7日(金)に7月のマネタリーベースと日本銀行の取引、消費活動指数などが公表予定である。海外では3日(月)に7月のISM製造業景況指数、5日(水)に7月のADP雇用統計、7月のISM非製造業景況指数、7日(金)に7月の米雇用統計などが公表予定である。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされまようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。